

10101肉製品、乳製品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	17 ～ 18	生鮮センターで作業終了後、バックルームの施錠等を確認していた際、床が濡れており、足を滑らせて転倒し、右足靭帯損傷、捻挫を負った。	62	2	417	10～ 29
2	2020	1	14 ～ 15	工場内、白菜切漬け包装室で、脚立に登って包装機の筒を取り外して洗浄後、周辺の汚れを拭き取ろうとして、手を伸ばした際、脚立の足場がないことに気付かず踏み外し、腰から床に転落し、強打した反動で、頭も床にぶつけ、打撲および股関節の痛みを負った。	61	1	371	300 ～ 499
3	2020	1	7 ～ 8	構内冷凍庫で、冷凍鶏肉をトラックに積み込み作業中、床が凍結しており、左足が滑りバランスを崩し、尻もちをつき転倒した。その際、床に左手をつき、左手首を骨折した。	62	2	416	10～ 29
4	2020	1	16 ～ 17	工場内で、ハンドソー（切断用の機械）を使って肉を切断中、手が滑って左手に刃が接触し、親指に裂傷を負った。	41	8	165	30～ 49
5	2020	2	16 ～ 17	焼却炉1次破碎機へ引っ張り棒を使用し、牛頭部を送り込む作業中、牛頭部に掛けていた先端フックが外れ、その惰性で体勢を崩して右手がホッパーに当たり、右手親指を骨折した。	65	3	364	100 ～ 299
6	2020	2	13 ～ 14	自社工場で、解凍モモ肉を切る際、左手人差し指付け根に創傷を負った。	20	8	364	100 ～ 299
			7	生鳥ホームで、若鶏を入れた9段積みの生鳥カゴをベルトラインに				

7	2020	2	8	送る際、下から2カゴ目の両脇を挟むアングル板が定位置を挟み損ねて外側に倒れそうになり、左手で支えて踏んばるように力を入れたため、左胸辺りから異音がして、筋肉の肉離れを負った。	38	19	611	30～ 49
8	2020	2	15 ～ 16	ミキサー（混合機）の土台に乗り、ミートワゴン内に残った肉片をゴムベラで片付けた後、立ち入り禁止のミートワゴン昇降部内に下りたとき、右足が床につまずいて前方に転倒し、ゴムベラを持ったままの右手首を床に打ち付けて骨折した。	28	2	417	100 ～ 299
9	2020	2	22 ～ 23	工場の1階フロア内で3号機を洗浄中、ドラムに付着していた肉を除去しようとゆっくり回転しているドラムに横から手を入れた際、ドラムと樹脂の間に左手首が挟まれ、左手関節と左肘を捻挫した。	40	7	165	1000 ～ 9999
10	2020	2	14 ～ 15	場内1階出荷スペース階段前通路付近で、商品（バナナ）の検品中、検品済み商品を木製パレットからプラパレットへ積み替え作業をしていた。そのとき、パレットを踏みながら作業をしていたため、プラパレットの破損部分に左足が挟まりバランスを崩して転倒し、木製パレットに左脇腹を打ち付け、左肋骨を折った。	70	2	379	300 ～ 499
11	2020	2	17 ～ 18	退社時に駐車場で自家用車を運転していたとき、他の従業員の運転する車と接触し、頸椎・両肩関節・左手関節を捻挫した。被災時、双方が安全確認を怠っていた。	59	6	231	100 ～ 299
12	2020	2	14 ～ 15	解体室鶏ガラ骨肉粉碎機の作業終了後、掃除するため出口カバーを外し中の残渣を取り出す際、機械を運転したまま行き足が滑り手をついて、左手薬指が機械内部に入り第一関節より切断した。	55	8	165	100 ～ 299
13	2020	2	10 ～ 11	豚の頭骨を解体作業中、ナイフの刃を外側に向け逆手に持ち処理していた際、手が滑り右手小指に腱切断を負った。	37	8	364	50～ 99
14	2020	3	12 ～ 13	工場内の女子トイレで、床の排水側溝の、グレーチングの段差につまずいて転び、足首を捻挫した。	72	2	417	10～ 29

15	2020	3	10 ～ 11	製造現場で製品の検品作業の開始準備中、製品を仕分けするとき に使用する箱をキャスター付き台に載せて運んでいた。その際、 通路が消毒の水滴で少し濡れていて、長靴は着用していたが、足 を滑らせて転倒し、右肩、臀部を床に強打した。	62	2	417	100 ～ 299
16	2020	3	21 ～ 22	仕上げ職場で製品のバンド巻き作業中、職場を離れる際、コンベ アを跨ぎ、更に隣のコンベアを跨ごうとしたところ、電源コード に足を引っ掛けて膝をついた。その際、両手で支えようとしたが 間に合わず顔面を床に強打し、顔面を打撲した。	63	2	121	100 ～ 299
17	2020	3	13 ～ 14	オートキラー作業中、椅子に戻ろうとした際、機械に差していた 包丁に右足が当たり、右大腿部開放創を負った。	46	8	364	10～ 29
18	2020	3	7 ～ 8	畜解体処理施設で、2分割された豚足をバンドソーの左から、爪の 反対側を切り揃える作業中、左手第4指先端に切傷（ほぼ切断）を 負った。	67	8	165	100 ～ 299
19	2020	4	17 ～ 18	砂肝冷却スクリューを清掃中、掃除道具を落として拾おうとした 際に、スクリューの回転に気付かず、巻き込まれて右示指・中手 骨開放骨折、右母指中手骨骨折を負った。	62	7	162	100 ～ 299
20	2020	4	3 ～ 4	作業終了時の洗浄、清掃をしている際に、台車の陰に置いてあっ た器具に気付かず、ぶつかって、転倒した際に左足をひねり、骨 折した。	62	2	611	100 ～ 299
21	2020	4	19 ～ 20	製造場でミートホッパーに練肉を投入する作業中、リフトボーイ を上昇させる際に樹脂ローラーに右手小指が挟まれ切断した。	28	8	169	500 ～ 999
22	2020	4	17 ～ 18	工場の廊下で前から荷台が来たため壁際に避けた際、荷台と壁に 挟まれ、左手首を骨折した。	26	7	362	10～ 29
			15	工場内通路で、落ちていた氷を踏んで尻もちをつく状態で転倒し				100

23	2020	4	16	た際、左手をつき、手首を骨折した。	45	2	417	299
24	2020	4	23 24	食品加工場で、箱から冷凍肉を出していた際、手が滑って肉を右足の上に落とし、指を亀裂骨折した。	48	4	529	100 299
25	2020	4	21 22	ライン通路で、パレットと補充用コンテナの間を通り店間口に入しようとしたところ、左足がパレットにつまずいて転倒し、右大腿骨を折った。	58	2	417	500 999
26	2020	4	11 12	工場内で、使用していたナイフを砥石で研磨している際、手のひらが刃先と接触したため、左手第2指第2関節、手のひら側に切傷を負った。	47	8	364	100 299
27	2020	5	10 11	農場サポート課敷地内で、2t車でパレットを運搬し、重ねたパレットをフォークリフトに載せようとした際、鉤が外れた勢いで荷台から転落して腰を強打し腰椎を骨折した。	38	1	221	100 299
28	2020	5	13 14	工場包装室にて選別機で選別作業が終了し、選別機の清掃時、リフト下部を停止せずに拭き取りを行った。その際に、バケットとリフトの隙間（約1.5cm）に指が巻き込まれ、左手中指骨折、左手中指神経および血管断裂を負った。	50	7	165	300 499
29	2020	5	8 9	廃鶏出荷作業中に、鶏を入れる入れ物の脇を通ろうとしたときに、足を滑らせて、床板のない所へ足を掛けて、バランスを崩して左肘を床板に強打し、骨液包炎を発症した。	56	3	419	50 99
30	2020	5	12 13	工場の内臓室で昼休憩に入る際、足を滑らせて転倒し、手を床についたため、左前腕を骨折した。	72	2	417	50 99
31	2020	5	15 16	工場の加工室にて、作業場を移動しようとしたところ、作業場の床がドリップで濡れていたため、足を滑らせて転倒し、サンテナに接触して右背部を打撲した。	53	2	416	50 99

32	2020	5	12 ～ 13	4階センター借用スペースに保管してある書類を確認しに行ったとき、電灯を点けずに暗闇の中を手探りで歩行中、約1.4mの段差に気付かず落下した。その際、尻もちをついて、第3腰椎を圧迫骨折した。	49	1	417	500 ～ 999
33	2020	5	11 ～ 12	冷蔵庫内で、リフトで持ち上げているパレットに商品を移す作業中、リフトが前進してきて左前車輪が左足親指に乗り上げ、左第1趾IP関節靭帯損傷を負った。	19	6	222	100 ～ 299
34	2020	5	11 ～ 12	台車に積み上がった凍結用コンテナを運搬しようとした際、傾斜でコンテナがバランスを崩して尻もちをつく形で後ろに転倒し、第2腰椎圧迫骨折を負った。	58	2	362	300 ～ 499
35	2020	5	9 ～ 10	屠畜豚を柵から出す際、右膝の右側面部分に豚が接触して、右腓骨挫傷を負った。	51	6	719	500 ～ 999
36	2020	6	11 ～ 12	給食センターの揚げ焼き室で揚げ物をしているとき、途中めまいを感じたが作業終了まで作業を行った。終了後、顔が熱く寒気を感じたため横になり休憩を取ったが回復せず、熱中症を発症した。	47	11	715	50～ 99
37	2020	6	8 ～ 9	出勤時、工場内送迎バス発着場（工場玄関前）で、降車時にバスの階段で足を滑らせて踏み外し、道路に右足から着地してひねり、右足を骨折した。	57	1	231	300 ～ 499
38	2020	6	12 ～ 13	食品加工にて、使用済みのステンレス製容器を洗浄中に、洗浄機の出口から取り出すときに落下させ、左足人差し指の第二関節を骨折した。	45	4	379	100 ～ 299
39	2020	6	6 ～ 7	アイスクリーム工場作業場で、わらび餅の入ったパン箱（6kg相当）を両手で持ち上げる際、腰に痛みが生じ、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間関節症を発症した。	44	19	921	10～ 29
			10	原料を保管する大きな冷蔵庫内で、2.5m程の高さにある棚から原				

40	2020	6	11	料を取ろうとジャンプした際、着地する左足の裏が他の原料を載せてある台車と接触し、足を踏み外し左足立方骨を折った。	31	3	416	1～9
41	2020	6	20 ～ 21	加工場で、清掃後に廊下に出たところ、滑って転倒し右手首を骨折した。	37	2	417	10～ 29
42	2020	7	9 ～ 10	牛肉加工室で、大トロの製品をサンテナに詰め、台車に15段積んで冷蔵庫へ搬入作業中、社員に呼び止められて振り向いた際、左膝から転倒して脱臼した。	44	2	362	100 ～ 299
43	2020	7	11 ～ 12	計量器への階段を上る際、スイッチボックスを固定しているL字アングルに頭部をぶつけて裂傷を負った。	63	3	521	300 ～ 499
44	2020	7	14 ～ 15	粉卵作業で製品の切り替えの際、タンクの蓋を開けて粉を手で払い出していたところ、スパイラルに手が触れ、右手中指の先端を切った。	27	8	165	100 ～ 299
45	2020	7	9 ～ 10	肉をミンチにする加工機械の投入口（直径約20cm）から肉を投入中、詰まり右手で肉を押し込む際、スイッチが入って、機械が作動し、肉と一緒に右腕が巻き込まれた。その際、右前腕に高度挫滅を負った。	39	7	165	10～ 29
46	2020	7	10 ～ 11	事業所内で、梱包作業中、下に置いてある段ボールにつまずき、転倒しそうになり、手をついた際、右腕をひねり炎症を負った。	40	3	417	30～ 49
47	2020	7	13 ～ 14	ローストビーフ包装室値付け作業中、天井からの結露により発生した床面の水たまりに足を取られて転倒し、左手関節靭帯損傷、月状骨骨挫傷、三角骨骨挫傷を負った。	48	1	417	30～ 49
48	2020	7	10 ～ 11	工場内の作業台で鶏肉加工が済み、業務を終了するために移動している途中で足を滑らせ後ろ向きで転倒した。その際、頭と背中、腰を強打し、胸椎を圧迫骨折した。	72	2	417	10～ 29

57	2020	9	5 ～ 6	職場女子更衣室で、防じん服に着替え清掃区域内の短靴を履くため右足を入れたとき、バランスを崩し、後方設置のロッカーに背中をぶつけ、第9肋骨を折った。	68	2	417	100 ～ 299
58	2020	9	2 ～ 3	工場内包装室で1階での包装業務が終了したため2階に手袋を置き、清掃のため再度1階へ下りようとしたところ、階段半ばで足を滑らせて転倒し、胸椎を圧迫骨折した。	70	2	413	100 ～ 299
59	2020	9	16 ～ 17	製造終了後の清掃中、ホースで水洗いしていたとき、水を止めようとして、バルブのある所に向かっていたとき、足を滑らせた際、左足大腿骨を折った。	60	2	417	50～ 99
60	2020	9	11 ～ 12	加工場内で原料冷蔵庫に入室したところ、氷で足を滑らせて転倒し、両手首を骨折した。	63	2	416	100 ～ 299
61	2020	9	9 ～ 10	食品工場で、肉をボイルするため、作業台上のカゴに肉を移し替える際、ボールを持っていた右手をひねり、右手関節に挫傷を負った。	45	19	921	100 ～ 299
62	2020	9	10 ～ 11	工場内で、肉をハムスライサーでスライスしていた際、不注意により回転中の刃に左手中指が接触して切創を負った。	47	8	169	50～ 99
63	2020	9	8 ～ 9	工場内で、大型台車の側を通り過ぎようとして台車につまずき転倒し、左膝を床に打ち付けて骨折した。	57	2	362	10～ 29
64	2020	10	11 ～ 12	工場作業場内で、肉をミンチ機に投入作業中、原料（横20cm、縦40cm、重さ10kg程度の冷凍鶏肉）をまとめて投入したため、投入口に入りきらず入口から滑り落ちてきて左手小指に落下し骨折した。	62	1	165	30～ 49
			7	デザート調合室で牛乳ラインの機器殺菌が終わり、洗浄ラインから製造ラインに切り替えるとき、温水抜き作業を実施するが、バ				50～

65	2020	10	8	ルブネジをレンチで徐々に緩め温水抜きをするべきところ、ネジを急速に開けたため、温水（85℃以上）が噴出し、右足甲に掛かり火傷した。	49	11	911	99
66	2020	10	10	食肉加工作業中、加工用ナイフを滑らせ、左腕前に切傷を負った。	33	8	364	10～ 29
67	2020	10	15	工場内で、休憩後の作業開始時に、作業で装着する手袋を取りに行った。作業備品棚の前に台車が置かれていたので、避けようとしたところ足が引っ掛かり、左腰から転倒し、頸部と腰部に挫傷を負った。	31	2	361	50～ 99
68	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	28	90	911	50～ 99
69	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	49	90	911	50～ 99
70	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	45	90	911	50～ 99
71	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	57	90	911	50～ 99
72	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	59	90	911	50～ 99
73	2020	10	13	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	56	90	911	50～ 99

			14	ナウウイルス感染症による肺炎を発症した。				
74	2020	10	13 14	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	38	90	911	50～ 99
75	2020	10	13 14	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	25	90	911	50～ 99
76	2020	10	13 14	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	37	90	911	50～ 99
77	2020	10	13 14	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	44	90	911	50～ 99
78	2020	10	13 14	職場の従業員数名に新型コロナウイルスの陽性者が発生したため、PCR検査を受けたところ、当職員も陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症による肺炎を発症した。	34	90	911	50～ 99
79	2020	10	10 11	会社内ゴミ分別場で、ビニールゴミの圧縮作業中、床に置いてあるゴミを移動させようとした際に滑って転倒し、右肘関節内外側状靭帯損傷、右肘関節・右手関節に捻挫を負った。	48	2	416	—
80	2020	10	15 16	プラットホームで空カゴを整列させる作業中、足を滑らせ転落し、右大腿骨と左4指を折った。	59	1	419	300 ～ 499
81	2020	10	11 12	食肉のスライス作業中、肉が硬くストッパーが外れて飛び出しそうになったため、肉を押さえようとしてスライサーの刃に左手首が触れ、左尺骨神経、尺側手根屈筋腱、尺骨動脈を断裂した。	31	8	169	1～9
82	2020	11	11	工場のハムソーセージ加工室で、冷凍イベリコ豚の端材を4等分にナイフでカットする際、肉が固くてナイフが横にずれ、右手親指	61	8	364	100 ～

			12	の付け根に挫傷を負った。				299
83	2020	11	7 ～ 8	工場敷地内駐車場から、工場入口に歩いている途中、側溝の蓋につまずいて転倒し、両手、左膝に骨挫傷を負った。	67	2	417	100 ～ 299
84	2020	11	9 ～ 10	原料保管冷蔵庫内から、処理場へ戻ろうとしたときに足が滑り、転倒して床に右手をつき、手首を骨折した。	52	2	417	100 ～ 299
85	2020	11	15 ～ 16	生鶏肉の入ったビニール袋の開封作業中、袋に力を入れた瞬間に中の具材が跳ねて、生鶏肉の血や肉の液が右目を直撃し、眼球損傷を負った。	42	4	529	300 ～ 499
86	2020	11	14 ～ 15	洗浄室内で、空の舟形ミートトロッコを洗浄しようとして、トロッコを立てようとしたとき、トロッコを左足親指の上に乗せて骨折した。	24	7	362	100 ～ 299
87	2020	11	15 ～ 16	降車する際、車止めを踏んで右足首を捻挫した。	67	19	419	50～ 99
88	2020	11	18 ～ 19	畜産加工室内で、包装機械のラップ台ローラーとラップ掛けローラーの清掃中、起動スイッチを押し、タオルでローラーを拭いている際、ローラーの間に左前腕部が巻き込まれ、圧挫傷を負った。	47	7	169	300 ～ 499
89	2020	11	10 ～ 11	工場内で歩行中、床面排水柵につまずき、前方へ転倒して、右膝を骨折した。	61	2	417	100 ～ 299
90	2020	11	11 ～ 12	食堂に向かう途中にめまいがあり、ふらついて転倒し大腿骨を折った。	55	2	417	100 ～ 299
			21	LL充填作業終了後に、乳飲料課充填室コントロール室前を歩行中				50～

91	2020	11	～ 22	に、パレットにつまずき転倒し、右足首を剥離骨折、靭帯損傷を負った。	40	2	379	99
92	2020	11	6 ～ 7	工場敷地内で移動中、マンホールの段差でつまずき転倒し、上顎骨・右橈骨遠位端を骨折した。	71	2	419	100 ～ 299
93	2020	12	10 ～ 11	社内出入口通路の道が凍っていて、横滑りして転倒したとき、左手をついて左手首を骨折した。	57	2	719	100 ～ 299
94	2020	12	12 ～ 13	昼休憩時間中に食堂へ向かって歩行中、勾配12度ぐらいの下りの通路でスリッパの先につまずいて転倒し、脇腹、右膝を打撲した。	41	2	417	300 ～ 499
95	2020	12	8 ～ 9	工場敷地内でロング台車組み立て中に、右足親指、人差し指に落下し、骨折した。	50	4	362	30～ 49
96	2020	12	22 ～ 23	荷物搬入口で、トラックに荷物を積むためテーブルリフターを下降させたとき、左足小指を挟んで骨折した。	39	7	391	30～ 49
97	2020	12	11 ～ 12	工場の包装室で、牛乳製造ラインのケーサー（牛乳12本入りの箱詰め機）に、作動不良が起きたので点検していた。その際、スイッチの誤作動により、ケーサーヘッドが下降し、ケーサーヘッドとガイドに左手が挟まれ、手のひらに裂傷を負った。	47	7	169	50～ 99
98	2020	12	8 ～ 9	ブロイラーセンター解体室で、床が濡れていたため滑って転倒し、左臀部を強打して皮下血腫を負った。	58	2	417	100 ～ 299
99	2020	12	8 ～ 9	包装室ラインの下取り作業中、金属探知機に商品が詰まったため、取り除こうとして番重に足を引っ掛けて転倒し、恥骨と座骨にひびが入った。	60	2	379	300 ～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。